

細胞の凍結方法

*対数増殖期の細胞を凍結する。凍結の前日に培地交換を行う。

凍結保存液および凍結チューブは前もって氷冷しておく。

↓

細胞を遠心チューブに回収する。

↓

1300rpm、5min 室温で遠心分離する。

↓

上清を除去し、氷冷した凍結保存液を加えて懸濁後、凍結チューブに分注する。

*当センターでは凍結保存液 1ml あたりに、60mm ディッシュ 1 枚分の細胞量（およそ 1.0×10^6 個）を懸濁し、凍結チューブに封入しています。

↓

凍結チューブを市販の凍結専用容器（BICELL）に入れ、 -80°C のフリーザーで一晩放置する。*この状態での保存は1週間以内に行ってください。

↓

凍結した細胞を液体窒素中で保存する。

*液体窒素中では、半永久的に保存可能です。

【凍結保存液について】

当センターでは CELLBANKER 1 (ZENOAQ、CB011) やメチルセルロースを含む凍結保存液を調整し使用しています。この他、Culture Medium+10%DMSO でも凍結可能です。